

第37回経営研修会 ～ベトナム人実習生・エンジニアを知るハノイ3泊5日の旅～

11/12（火）～16（土）の日程で、経営研修会としては初めての海外視察「ベトナム人実習生・エンジニアを知るハノイ3泊5日の旅」を総勢21名（途中参加者を含む）の皆様にご参加いただき実施いたしました。

<11/12（火）> 成田・関空・セントレアの各地空港より出発し、ハノイ空港にて現地集合。バスにてホテルへ向かう途中、ホーチミン廟・一柱寺に立ち寄る。

<11/13（水）> 現地企業、2社視察。両社とも日系二輪メーカーの仕事が多く手掛けている。ワーカーの person 費は日本の1/5。

・FOMECO社 設立：1974年 従業員数：950名 製品：各種ベアリング、二輪車および自動車の部品等

・FUTU1社 設立：1968年 従業員数：1000名以上 製品：歯車、スプロケット、二輪部品等

<11/14（木）> 技能実習生研修センター・ハノイ工科大学視察・ベトナム人エンジニアとの交流会

・技能実習生研修センターAMASCO社訪問。技能実習生として日本に行く若者たちの語研修の様子を見学。

・ハノイ工科大学訪問。大学のプレゼンテーションを受けた後、我々のために集まった学生から質問を受ける。その後、工作実習室を見学。



・宿泊先のホテルにて、日本で働いてみたいと考えているエンジニア達との夕食会。5つのテーブルに分かれ小グループにて、現地の若者達と密なコミュニケーションを取ることができ、たいへん有意義だった。



<11/15（金）> ハロン湾観光。

<11/16（土）> 深夜便にて、帰国。成田・関空・セントレアの各地空港に着。

<所感> 見学した工場は90年代、日系二輪メーカーがベトナムで現地生産を進める際に部品を現地調達する必要があった背景から、機械設備に関しては大部分が日本製の工作機械であり、ベトナム市場を押しやるために海外展開した当時の日本の勢いを感じることができた。ベトナム人実習生・エンジニアは、「とにかく日本に行ってお金を稼ぎたい。」という強い情熱を持っており、少子化が進む日本においてもっと広い視野で採用を考えるべきと思った。

（文責：経営研修委員長 菊地義典）